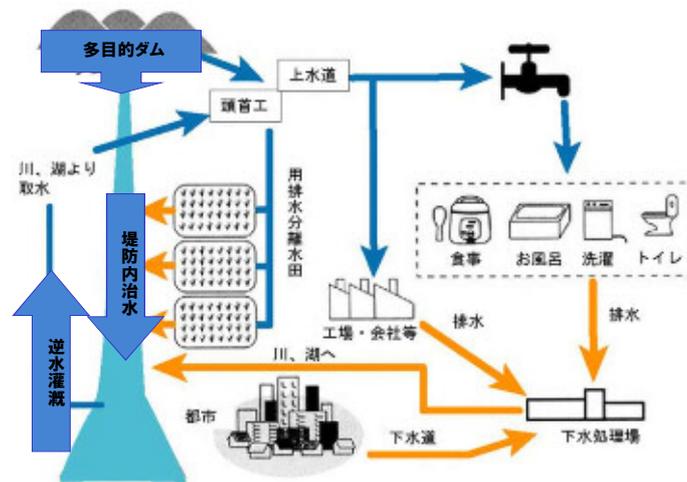


“遠い水”による水系閉じ込め型水システムの完成

■ 水システム模式図 平成年代



出典：嘉田由紀子：『環境社会学』、岩波書店、2002、P15

Mother
Lake

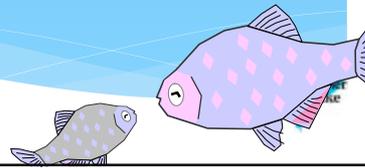
滋賀県知事としての挑戦 「かだマニフェスト2006」でのダム凍結

- * 丹生、大戸川、永源寺第2ダムの県支出金合計200億円以上が、県営の芹谷ダム、北川第一、第二ダム建設についても今後数百億円以上の県支出金が必要です。この6つのダム建設計画について凍結します。
- * 以下の代替案を提案して県民の皆さんとの対話を通して見直します。
- * 治水については、ダム以外の方法(堤防強化、河川改修、森林保全、地域水防強化)、すなわち「流域(地域密着)型治水」により対応します。
- * 利水も、ダム以外の方法、水の循環再利用システムを構築します。
- * また、公共事業の地域振興効果として、ダムのような大型公共事業は必ずしも地域経済を長期的に潤すものではありません。流域(地域密着)型の河川改修や農業水源確保事業のほうが迅速な対応、地元の業者が直接工事に参加でき、しかも費用が安くて済むなど脱ダムに関する代替案を提言します。
- * あわせて、ダム建設を前提に集落移転を余儀なくされた地域の人々への謝罪と社会的配慮を十分に行います

Mother
Lake

7. 滋賀県の「流域治水」って、なに？

■ 川の中だけでなく、川の外でも治水



滋賀県が進める「流域治水」

～地域性を考慮した総合的な治水対策の展開～

目的

- ① どのような洪水にあっても、人命が失われることを避ける(最優先)
- ② 床上浸水などの生活再建が困難となる被害を避ける

手段

- ・ 川の中の対策だけではなく、「ためる」「とどめる」「そなえる」対策(川の外での対策)を総合的に実施する。

河道内で洪水を安全に流下させる対策
(これまでの対策)

ながす

河道掘削、堤防整備、
治水ダム建設など



流域貯留対策
(河川への流入量を減らす)

ためる

調整池、森林土壌、水田、ため池
グラウンドでの雨水貯留など

氾濫原減災対策
(氾濫流を制御・誘導する)

とどめる

輪中堤、二線堤、霞堤、水害防備林、
土地利用規制、耐水化建築など

地域防災力向上対策

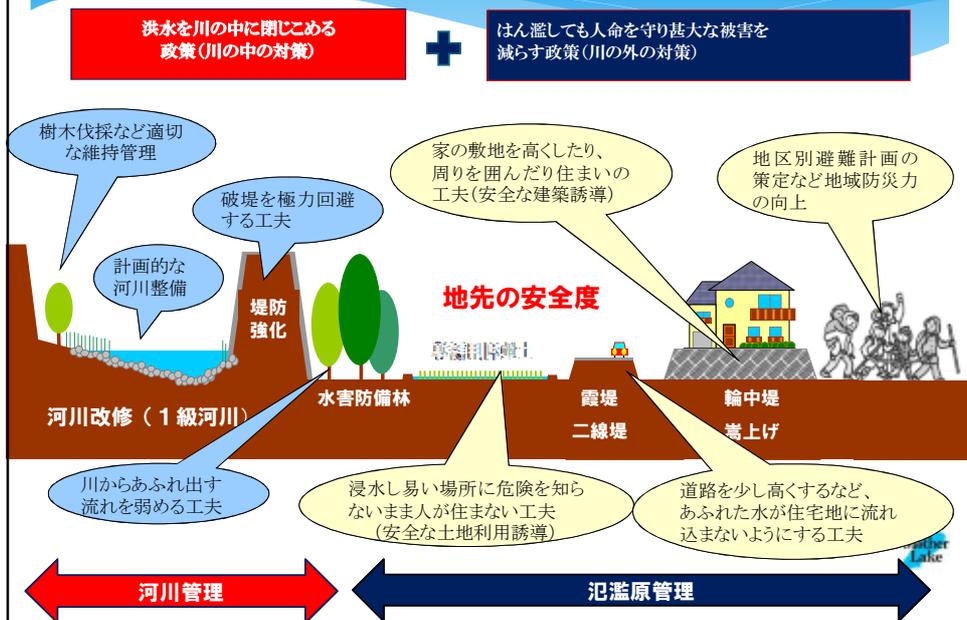
そなえる

水害履歴の調査・公表、防災教育
防災訓練、防災情報の発信など

滋賀県が進める流域治水

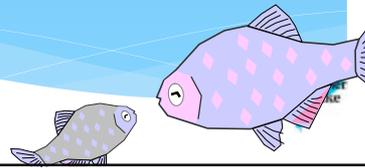


滋賀の流域治水政策の概念図 河川管理と氾濫原管理



7-1 流域治水の基礎情報 「地先の安全度マップ」

■ リスクを知らねば始まらない



流域治水条例



きっかけは、地先の安全
度

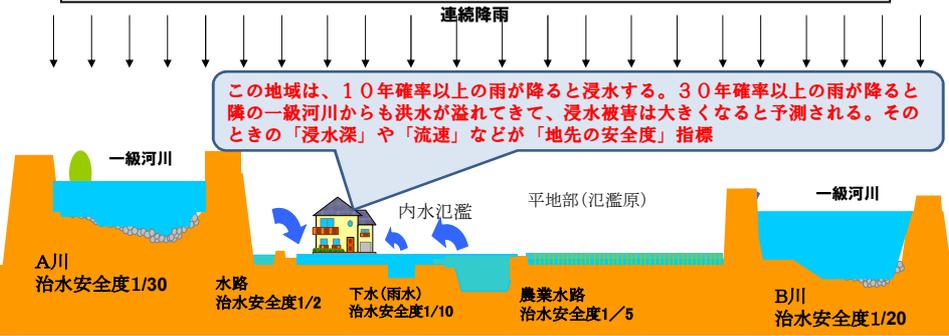


水害で県民の命が失われ
る前に手をうちたい！



流域治水の基礎情報 「地先の安全度マップ」 (全国初。平成24年9月公表)

大河川だけではなく、身近な水路のはん濫なども考慮した浸水想定マップ(10年、100年、200年に一度の雨)



- 浸水想定区域図: 大きな川からのみ氾濫。他は晴天
- 地先の安全度マップ: 大きな川だけではなく、身近な水路も氾濫
- 実現に近い予測が可能となった



地先の安全度 従来の浸水想定との違い

- 従来の浸水想定 - 対象とする大河川からのはん濫を検討
- 今回の浸水想定 - 大河川だけでなく、小河川や主な水路からのはん濫も検討

